



くりみっ子

令和4年 8月29日 <第5号>
東近江市立能登川北小学校
<http://www2.higashiomi.ed.jp/noikitasho/>
文責 校長 北村 定治

学校教育目標 共に高まり合い、心豊かにたくましく生きる児童の育成

2学期がスタートしました！

今日から、2学期がスタートしました。大きなけがや病気もなく今日の日を迎えられたこと、まず保護者の皆様に感謝です。夏休み中には、きっと家庭でしかできない貴重な経験を積まれたことだと思います。その経験を2学期の学校生活に生かして欲しいと思います。

さて、昨年度の夏は、東京オリンピックに湧きました。今年の夏はいろいろあったと思いますが、私たちに元気を与えてくれたことの一つは「近江高校の甲子園での活躍」があげられるのではないのでしょうか。春のセンバツ高校野球で全国準優勝という結果を出した近江高校は、夏の大会でも全国から注目されました。中でも、キャプテンでピッチャーで4番の山田陽翔（はると）君の存在は目をひくものがありました。世間一般には、この山田君に注目が行きがちですが、彼だけの力でこれだけの結果が残せたわけではないと思います。もちろん、チームをまとめるためにはリーダーが必要で「日本一」を目標に掲げながら、日々相当な努力があったはずで、準決勝の下関国際に負けた後のインタビューで、人目もはばからず泣きながら彼が語った最後の言葉が印象的でした。「近江高校に入って本当に良かったです」と。彼は、強豪校の大阪桐蔭からもオファーがありながら、地元の近江高校に進学を決め、そこで出会ったチームメイトと力を合わせながら多賀監督の指導のもと、全員一丸となって、仲間同士が目標に向けて一人一人が成長できる素晴らしいチームをつくりあげました。どの学校へ行くかが問題なのではなく、行った学校で何をすることが重要だということを改めて感じます。彼らのがんばりは、本校の、6年生を中心に全校が一つの目標に向かって取り組んだ「くりみっ子運動発表会」と重なる部分があります。



本校では、子どもたちに伝えている「く・り・み・の・こ」（く：苦労しよう汗を流そう学校づくりに り：立派にあいさつ明るい笑顔 み：みんなで築こう北小の伝統 の：伸ばそう学力つけよう体力 こ：根気が一番北小の子ども）を合言葉に、非認知能力の育成を図っています。今学期も、子どもたちが自分たちで考え、仲間とともに力を合わせて、ともにたくましく生きる力をつける教育活動を展開していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

始業にあたって感染予防対策でのお願い

2学期の始業にあたって、県内の感染者は高止まりが続いています。滋賀県の地域の感染レベルも「レベル2」になっています。そうしたことを受け、学校では始業にあたって再度基本的な感染予防の徹底をおこないます。保護者の皆様の理解と協力をお願いします。

【学校で再度指導すること】

- ・今までの感染予防対策の確認と徹底。
- ・「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」について、可能なものは避け一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし回数や時間を絞るなどして実施。
- ・できるだけ個人の教材教具を使用し、児童同士の貸し借りはしない。
- ・器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の手洗いを行う。
- ・トイレ休憩については混雑しないよう動線を再度確認し実施。廊下で滞留しないよう、私語を慎むよう指導。

【ご家庭でお願いしたいこと】

- ・発熱等風邪の症状がある場合には、自宅で休養することを徹底してください。
(レベル2及びレベル3では同居の家族に風邪症状がある場合も登校をひかえるようにしてください)
- ・登校時、児童の検温結果及び健康状態をより丁寧に把握します。
(レベル2及びレベル3では、同居の家族の毎日の健康観察を確実に行っていただき、コードモアプリを使って学校へ送信してください)
- ・子ども自身で机など除菌をできるようにするためアルコール除菌ウエットティッシュをご準備ください。

バス下校について

1学期末の猛暑を受け、PTA役員さんとの相談の上、2学期より、バス下校に切り替える基準を下記のように設定しました。保護者の皆様には、8月25日にコドモンでも配信しておりますので、ご確認ください。

【バス下校を実施する可能性のある日】

- すいすいデー（月曜日・水曜日の全校下校）
- 火曜日、金曜日（1・2・3年下校）
- 木曜日（1・2年下校）

【バス下校判断の基準】

基本的に、14:00の時点で判断し、保護者等にコドモンで連絡

○WBGT（暑さ指数）が31（危険）を超える場合。

○気温の状況（WBGTが31を超えていなくても）この先上がることが予想される場合。

○大雨や大雪等、数時間後の徒歩による下校の危険が予想される場合。

※雷の場合は、前もって予想することが難しく、危険度も高いため、待機が長引く可能性が高い場合は、保護者にお迎えをお願いする。（コドモンで連絡）

※災害級の大雨の場合は、保護者引き渡しによる下校。（コドモンで連絡）

＜個人での迎え＞保護者が教室まで迎えに行く。

＜地区でまとめて迎え＞代表者が学校へ連絡を入れ、昇降口で引き渡し

【乗車賃の費用負担について】

○バス下校にかかる運賃等の費用は保護者負担（カバンにバスチケットを常備し、現金は持たせない）

○バスチケットの購入については、各地区PTA総務さんにお尋ねください。

【その他】

○代表の子が、バスに乗る人数をメモしたカードをお迎え当番に渡す。

○お迎え当番は、何かあれば学校に連絡する。

○チケットを忘れた子は、学校で借りて後日返す。



6年生思い出キャンプ

7月25日（月）～26日（火）、北小恒例の「6年思い出キャンプ」が行われました。まずは、校内探検ということで謎解きゲームをしました。3つのグループに分かれ、それぞれの部屋で謎解きのヒントを解きながら最後は担任の先生を救出するというものです。次に外に出て、水てっぽう遊びをして盛り上がりました。

その後、場所を福堂の憩いの広場に移して、テントを設営しました。中央にはテーブルが並べられ、周りを取り囲むようにテントがセットされる風景はアウトドアの雰囲気が出てワクワクします。大中で収穫されたスイカを使ったスイカ割り大会も行われました。一人ずつ全員が順番にスイカを割っていきます。周りの子が声をかけながらスイカ目がけて棒を振り下ろし、見事に割れるとみんな拍手で盛り上がりました。

夕食は、バーベキューです。保護者の方々を持ち込まれた食材や、大中で育てられている近江牛も準備されました。子どもたちはこの楽しい雰囲気の中で夕食を楽しみました。その後は、福堂ナイトウォークです。町内を歩きながらミッションをクリアして広場に戻ってきます。

こうして、学校では体験できない非日常的なイベントを福堂町で行うことで、思い出づくりだけでなく福堂町への愛着ももてるようになるのではないのでしょうか。広場へ戻ると、子どもたちは思い思いに花火を楽しみました。お楽しみのいっぱい詰まった思い出に残る6年キャンプとなりました。このイベントの企画から準備に至るまで、いろいろ考えて動いてくださった役員の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



謎解きゲームの開始



スイカわり大会



みんなで花火

熱中症予防等について

2学期が始まり、まだまだ暑い日が続くことが予想されます。学校では、こまめな水分補給、屋外や運動時にはマスクを外すなど、熱中症予防に向けた指導を行ってまいります。以下の点につきまして、協力をお願いします。

- こまめに水分補給ができるよう、十分な量の飲み物をもたせてください。
※原則は水・お茶としますが、補助的にスポーツ飲料も可とします。
- 集団登校時や下校時については、日よけの傘や冷感タオルを使用するなど、各ご家庭でもお子様の体調管理をお願いします。
※エアコンの効いた室内では、冷感タオルは外します。
- 清潔なタオルを毎日持たせてください。汗をかくので、マスクの予備もご準備ください。
- 夜更かしによる睡眠不足も、体調不良に大きく影響します。十分な睡眠時間の確保、朝食の摂取等、規則正しい生活が送れるようご配慮ください。



コラム 非認知能力を育てる

効果的なほめ方 ～子どもの能力より、努力をほめる～

スタンフォード大学の心理学教授、キャロル・S・ドゥエック博士らの20年にわたる研究によると、闇雲に褒めたらいいというわけでもありません。ドゥエック博士の研究では、10代の子どもたちに10問のIQテストを解かせて、2種類の方法で彼らを褒めました。

1つ目のグループ、「〇点もとったの、あなたは頭がいいね!」と、子どもの能力や結果を褒めました。2つ目のグループは、「〇点も取ったの、よく頑張ったね!」というように、努力やプロセスを褒めました。

すると、能力を褒められた子どもたちは、次のテストで2つの問題を選択する際に、より難しい問題を避けようとする傾向にありました。反対に、努力を褒められた子どもたちは、より難しい問題を選ぶ傾向にありました。さらに、その後にもっと難しい問題を与えたとき、能力を褒められた子どもたちは、自分のことを頭が悪く、才能がないと考える傾向があったのだと言います。どちらのグループも、最初の問題では簡単に正解を出すことができましたが、問題が難しくなっていく内、生まれつきもっている能力を褒められた子どもはそれを楽しむことができなくなったのです。一方、自分のした努力を褒められた子どもたちは、問題が難しくなっても、楽しみながら挑戦していくことができました。

このことから、子どもが生まれつきもつ能力や資質、そして結果を褒めるより、そこに至ったプロセスや努力を褒める方が、子どものやる気を引き出せると言うことです。

～論理的な対話で子どもの自制心を高める～

スタンフォード大学の心理学者ウォルター・ミシエル教授によって1960年代に行われた「マシュマロ実験」は、4歳時点での子どもの自制心を調べたテストです。

実験する大人は、子どもの前に好きなマシュマロやキャンディーなどを一つ用意して、こう言いました。「わたしが部屋に戻ってくるまで、これを食べるのを我慢できたら、もう一つあげるよ」そして、大人は部屋を出て行き、15分後に戻ってきます。

この実験を行った186人の内、約3分の1の子どもは15分間、我慢をして2つ目のマシュマロをもらうことができましたが、残りの3分の2の子どもは我慢できずに、目の前のマシュマロを食べてしまいました。そして、我慢できた3分の1の子どもを追跡調査したところ、SAT(大学進学適性試験)の点数が高く、学習面で著しく優秀であるばかりか、肥満指数が低いなど、自身の健康管理にも優れていたと言います。

大人の話を理解して目の前のお菓子を我慢できるかどうかは、衝動的な行動をコントロールできるかどうかにつながっています。自分の中の怒りや衝動を自制できるかどうかと言うことです。こうしたものは生まれつき備わった力というよりは、幼い時期から長い時間をかけて備わっていくものだと考えられます。



2学期の主な行事について

9月
4年やまのこ
*期日：9月13日(火)
行き先：高取山
1年校外学習
*期日：9月16日(金)
行き先：河辺いきものの森
2年校外学習
*期日：9月21日(水)
行き先：ヤンマーミュージアム
6年修学旅行
*期日：9月28日(水)、29日(木)
行き先：奈良方面
※今後の感染状況により変更の可能性があります。

10月
くりみフェスタ
*期日：10月15日(土)
本校の音楽会をメインに、飲食を伴う「もちつき」「豚汁」「模擬店」や密になりやすい「バザー」は取りやめ、規模を縮小した形で行う予定です。発表形態や参観者の制限等感染予防対策を講じて行います。
詳細が決まり次第お知らせします。

11月
市陸上記録会(6年)
*期日：11月8日(火)
場所：東近江市総合運動公園陸上競技場
PTA資源回収
*期日：11月12日(土)
5年校外学習
*期日：11月17日(木)
行き先：スマイルネット、パナホーム
くりみっ子マラソン大会
*期日：11月25日(金)
昨年度の取組を踏まえて、密を防ぐ手立てをとりながら実施する予定です。

9月の主な行事予定

1	木	メディアコントロールデー 家読の日
2	金	委員会活動⑥
3	土	交通安全推進大会 6年児童代表参加
7	水	フッ化物洗口
9	金	クラブ活動⑥
12	月	3年食育授業⑥ わくわく元気ッズ練習開始
13	火	4年やまのこ(高取山)
14	水	フッ化物洗口
15	木	メディアコントロールデー 家読の日 たてわり遊び PTA常任委員会
16	金	1年校外学習(河辺いきものの森) クラブ活動⑥ にこにこ学習 教育相談日
19	月	敬老の日
20	火	1年食育指導③
21	水	2年校外学習(ヤンマーミュージアム) フッ化物洗口
23	金	秋分の日
26	月	諸費振替日
28	水	6年修学旅行1日目 フッ化物洗口
29	木	6年修学旅行2日目
30	金	クラブ活動⑥ わくわく元気ッズ(昼休み)

濃厚接触者待機期間の見直しについて

濃厚接触者の待機期間が、最終曝露日(感染者との最終接触)から5日間(6日目解除)とされるとともに、2日目及び3日目の抗原検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、3日目から解除とします。いずれの場合においても一定の感染リスクが残存することから、感染リスクの高い場所の利用や会食等避け、マスクを着用すること等の感染対策の徹底をお願いします。

また、給食に際に飛沫が飛ばないように、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控える等といった従来からの対策を講じていますので、給食時にマスクをせずに会話したことだけで、一律に出席停止の措置をとることはしません。